



TAKI RENTARO
瀧廉太郎

名曲を生み出した若き作曲家
瀧廉太郎が育った「竹田」



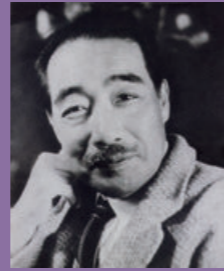
YANAGAWA/TAKETA/NOBEOKA

～柳川・竹田・延岡～

九州文学観光ルート

北原白秋
瀧廉太郎
若山牧水

文人たちの
ゆかりの地へ



KITAHARA HAKUSHU
北原白秋

日本を代表する詩人
北原白秋の出生の地「柳川」

四季折々の風景と文学が融合する旅



WAKAYAMA BOKUSUI
若山牧水

全国を巡り歌を遺した歌人
若山牧水が育った「延岡」



発行:九州文学観光ルート協議会

事務局

柳川市観光課

〒832-8601 福岡県柳川市本町87-1
TEL0944-77-8563

竹田市商工観光課

〒878-0011 大分県竹田市大字会々2250-1
TEL0974-63-4807

延岡市観光戦略課

〒882-8686 宮崎県延岡市東本小路2-1
TEL0982-34-7833

大分県
竹田市



TAKI RENTARO
瀧廉太郎
(1879年～1903年)

明治の西洋音楽黎明期における代表的な作曲家・瀧廉太郎は、東京市芝区南佐久間町に生まれ、父の仕事のため、富山県や大分県で育ちました。子どもの頃から音楽が好きだった廉太郎が本格的に音楽を学んだのは、15歳で東京音楽学校に入学してからのことです。21歳の頃、代表作の歌曲「花」、中学唱歌「荒城の月」「箱根八里」、幼稚園唱歌「お正月」などを作曲した廉太郎は、22歳でライブツィヒ音楽院へ入学。しかし2カ月ほどで重い病気で倒れ、帰国後、わずか23年で生涯を閉じましたが、廉太郎は日本で初めて本格的な西洋音楽のスタイルを取り入れ、今日まで歌いつがれる名曲を残しました。



「荒城の月」
春高樓の花の宴
巡る盃影さして
千代の松が枝分け出でし
昔の光 今いずこ



～柳川・竹田・延岡～ 北原白秋・瀧廉太郎・若山牧水、文人たちのゆかりの地へ



近代日本の詩聖・北原白秋のふるさと福岡県柳川市、名曲「荒城の月」の作曲家・瀧廉太郎が育った大分県竹田市、9000首もの多くの歌を残した歌人・若山牧水ゆかりの地である宮崎県延岡市。日本を代表する文人を輩出した三市は、文学や芸術が暮らしに息づくまちとして発展してきました。九州文学観光ルート協議会は、文学のみならず、雄大な自然や歴史、独自の文化を持つ三市を結ぶ広域観光ルートを設定し、広く多くの方に文人の功績やまちの魅力を発信しています。

九州文学観光ルートとは

「海の声」より
白鳥は哀しからずや
空の青海のあをにも染ますただよふ



宮崎県
延岡市

WAKAYAMA BOKUSUI
若山牧水
(1885年～1928年)



若山牧水は1885年、現在の日向市東郷町で生まれ、延岡高等小学校、延岡中学校で過ごした8年間に歌への情熱と才能を開花させたといわれています。牧水は「酒」と「旅」をこよなく愛し、それらをテーマにした歌を、わずか43年の短い生涯の中で約9,000首残しています。文才にすぐれ、短歌の他に随筆、童話、紀行文などを数多く手掛けており、新聞・雑誌歌壇の選者としても活躍しました。牧水の歌碑は全国に約300基確認されており、まさに旅の歌人として全国的に愛されていることがわかります。現在でも、延岡市を含む牧水ゆかりの地では、牧水にちなんださまざまなイベントが行われています。代表作は「別離」など。

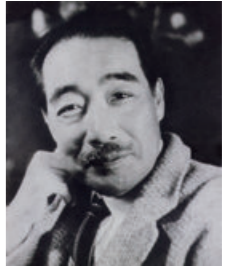


「あめより」
雨雨、ふれふれ、母さんが
蛇の目でおむかひうれしいな。
ピツチピツチ チャップチャップ
ランランラン



福岡県
柳川市

KITAHARA HAKUSHU
北原白秋
(1885年～1942年)



明治から昭和初期までの日本を代表する詩人・北原白秋は、1885年、酒造業北原家の長男として現在の福岡県柳川市沖端町に生まれました。白秋は上京するまでの19年間を柳川で過ごしていますが、多感な少年時代を文化の薫り高い情緒豊かな風土の中で育ったことが、後の彼の作風に多大な影響を与えています。近代日本の「詩聖」と謳われ、多くの人々に親しまれてきた白秋は、詩作にとどまらず短歌、童謡、民謡など幅広い分野で活躍し、57歳で亡くなるまで数多くの作品を世に送り出し、日本近代文学に大きな足跡を残しました。水郷柳川を我が詩歌の母体として捉え、終生ふるさと柳川をこよなく愛しつづけた「北原白秋」。今でもその熱い思いが伝わってきそうです。





瀧廉太郎

大分県の南西部に位置する竹田市。雄大な山々に囲まれた自然豊かな地には、江戸の趣が残る城下町があります。楽聖・瀧廉太郎が少年期を過ごしたことから、市内では廉太郎作曲の名曲が流れるスポットもあります。

竹田市

廉太郎の音色が聞こえる城下町



国指定史跡 岡城跡

文治元年(1185年)、緒方三郎惟業が源義経を迎え入れるため築城したと伝えられる岡城跡。難攻不落の名城であり、重厚に積み上げられた石垣が残っています。瀧廉太郎の名曲「荒城の月」のモチーフになったといわれる城跡としても有名で、二の丸にある瀧廉太郎の銅像は、少年時代に廉太郎と同じ学校に通っていた日本を代表する彫刻家 朝倉文夫によって作られました。「日本さくら名所百選」にも選出されており、春の桜と秋の紅葉は見ものです。

〒878-0013 竹田市大字竹田2761
☎0974-63-1541 (岡城料金所)
🕒9:00~17:00
👤大人:300円(200円)、小・中学生:150円(100円)
📅12/31~1/3 📄有(140台)



竹田市歴史文化館 由学館

岡城跡と旧城下町とを二つの大きなミュージアムとらえた資料館です。竹田で生まれた江戸後期の南画家(文人画家)・田能村竹田の住まいであった国指定史跡「旧竹田荘」と一体化した施設となっており、竹田市の歴史・文化・芸術を楽しみながら学ぶことができます。

竹田市歴史文化館 由学館
〒878-0013 竹田市大字竹田 2083
☎0974-63-2200
🕒9:00~17:00 (最終入館 16:30)
📄無料(企画展と旧竹田荘観覧の際は別途料金必要)
📅木曜、12月28日~1月3日
📄一般13台、障がい者用1台、バス2台



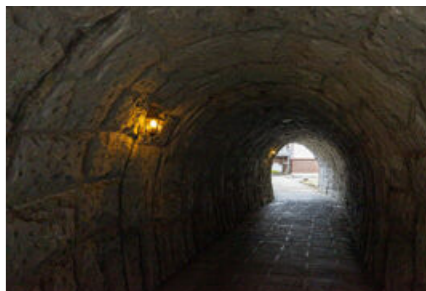
瀧廉太郎記念館

瀧廉太郎が12歳から14歳まで暮らした屋敷を現在は記念館として一般公開しており、館内には手紙や写真、直筆の譜面などを展示しています。廉太郎の生涯を紹介した15分間の映像は必見です。廉太郎の感性を育んだ空間が残された、日本では唯の場所といえます。

瀧廉太郎記念館
〒878-0013 竹田市竹田 2120-1
☎0974-63-0559
🕒9:00~17:00 (最終入館 16:30)
👤大人:300円(250円)、小中学生:200円(150円)
📅12月29日~1月3日
📄なし(城下町交流プラザ 駐車場利用)

廉太郎トンネル

瀧廉太郎記念館の近くにある小さなトンネル。中を歩くと、春は夏は「花」「荒城の月」「水あそび」の3曲、秋は冬は「荒城の月」「はとぼっぼ」「秋の月」の3曲がオルゴールの音色でランダムに流れます。記念館に訪れた際はぜひトンネルも訪れてみてください。



廉太郎トンネル
〒878-0013 竹田市寺町
📄なし

竹田温泉 花水月



竹田温泉 花水月
〒878-0011 竹田市大字会々 2250-1 ☎0974-64-1126
🕒11:00~21:30 (最終入館 21:00)
👤大人/500円、小学生/200円、未就学児/無料 ㊟木曜 📄58台

JR豊後竹田駅から徒歩1分にある日帰り温泉、竹田温泉花水月。主浴槽のほか、運動浴、遠赤サウナなどがある「花の湯」と、薬草サウナや露天風呂がある「月の湯」があります。

若山牧水



アクティビティも満載の水辺の里

延岡市

東九州に位置する延岡市は、日向灘に面し、五ヶ瀬川や北川、祝子川などの一級河川が貫流する水郷です。神話の舞台でもあり、豊かな自然を活かしたアクティビティも人気のエリア内には、歌聖・若山牧水の歌碑が多く残ります。

鮎やな

市街地の近くに幅100mにわたって架設される「延岡水郷鮎やな」は全国でも非常に珍しく、他には類をみない壮大なスケールを誇ります。この雄大な風景を見ながら鮎料理を楽しむことができ、多くの観光客に人気です。例年、やなの架設は10月下旬頃に行われ、鮎が落ちる落着き観望が楽しめるよう、川の中に棧橋が架かります。日没後からはライトアップされた姿を楽しむこともできます。(やなの架設期間は10月下旬頃~12月上旬頃)



延岡城跡・城山公園
〒882-0813 延岡市東本小路
☎0982-22-7046 (延岡市都市計画課)
📄無料 ㊟なし ㊟あり



延岡城跡・城山公園

慶長8年(1603年)に初代藩主・高橋元種が築いた延岡城跡地にある公園。礎石を外すと崩れ落ちて千人の敵を倒せるといわれる高さ19mの「千人殺しの石垣」を中心に、300本の桜が咲き誇ります。天守台跡の鐘つき堂では、8代目の鐘守が鐘をつき、時を知らせています。



延岡城・内藤記念博物館

施設には平常展示室(無料)、日本庭園、和室等を備え、施設全体で延岡の歴史や文化、若山牧水を含む偉人について学べます。また、企画展示室(有料)では、国内外の優れた美術作品や貴重な歴史資料を展示する特別展や巡回展など、多彩な展覧会が行われます。

延岡城・内藤記念博物館
〒882-0811 延岡市天神小路255-2
☎0982-21-7110
🕒9:00~17:00 (最終入館16:30)
📄無料 ㊟月曜 ㊟あり

下阿蘇ビーチ



下阿蘇ビーチ
〒889-0301 延岡市北浦町古江3337-1
☎0982-45-3811 (道の駅 北浦) 📄無料 ㊟なし ㊟350台

日豊海岸国定公園の中にあり、リアス式の美しい海岸が続く「うみウララ」エリア。環境省が選定する「快水浴場百選」の特選に輝く九州No.1の美しい「下阿蘇ビーチ」のほか、「須美江海水浴場」「熊野江海水浴場」などが点在。ダイビングやシュノーケリングなどが楽しめます。

愛宕山(笠沙の御崎)

愛宕山(笠沙の御崎)
延岡市
☎0982-22-7046 (延岡市都市計画課)
📄無料 ㊟なし ㊟あり

天孫ニギノミコトとコノハサキヤヒメの結婚にまつわるロマンチックな神話が残っていることから、「出逢いの聖地」と呼ばれています。山頂の駐車場までは車で5分、市街地までは車から眺めた笠沙の御崎も眺めた笠沙の御崎から景色を見ることもできる場所です。



※()内は20名以上の団体料金です。

北原白秋



柳川市

ゆったりと流れる時間を楽しむ水郷柳川

詩聖・北原白秋のふるさとである柳川市は、市内に網目のように掘割が張り巡らされており、「水郷柳川」として知られています。船頭さんの歌を聞きながら、白秋が描いた風景を辿る川下りを楽しむことができます。

川下り(お堀めぐり)

北原白秋の詩情を育んだ国指定名勝水郷柳川を巡る川下り。一本の棹を巧みに操る船頭さんの案内のもと、水と緑によつて美しく形成された堀をゆつくりするように入ります。川を進む水の音と心地よい音を立て揺れる柳の風景が外国人観光客にも人気です。柳川駅近くの乗船場から沖端までは約70分の片道コースとなっており、日常を忘れたひと時を満喫いただけます。

〒832-0065
福岡県柳川市沖端町35(柳川市観光案内所)
☎0944-74-0891 9:00~夕刻
料 大人:1,700円~2,000円、小人:850円~1,000円
休 なし ②あり



九州文学 観光ルートマップ



竹田市



竹田市 観光サイトはコチラ



延岡市



延岡市 観光サイトはコチラ



北原白秋生家・記念館

北原白秋の生家は、明治の大火で焼け残った母屋を復元したものです。敷地内には生誕百年を記念して建てられた記念館があり、白秋の遺品や著書などの貴重な資料と柳川の歴史民俗資料を展示。ビデオシアターでは「白秋の生涯」や「柳川の歳時記」など12作品を上映しています。

〒832-0065
福岡県柳川市沖端町55-1
☎0944-72-6773
9:00~17:00 (最終入館16:30)
料 大人:600円
小人(小・中学生):250円
学生(高・大学生):450円
※団体20名以上一人50円引き
休 12月29日~1月3日
②なし(市営駐車場隣接)

まちぼうけ像

まちぼうけ像
〒832-0069
福岡県柳川市新外町57
☎0944-73-8111(柳川市観光課)
休 無料 ②なし ③なし

1924年に発表された北原白秋作詞、山田耕筰作曲の童謡「待ちぼうけ」。その世界観を表した像で、掘割沿いに設置されており、舟を向いて設置されているため、舟から正面を見ることが出来ます。ライトアップもされており、夜はまた違った雰囲気を醸し出しています。



からたち文人の足湯

日帰り温泉施設より、気楽に利用できるのが足湯です。柳川市内の川下りコース沿いにある単純アルカリ温泉の「からたち文人の足湯」は、一度に70名まで利用でき、入湯無料。柳川ゆかりの文人を、彼らの写真やエピソード、作品などをパネルで紹介しています。

からたち文人の足湯
〒832-0057
福岡県柳川市弥四郎町9
☎0944-73-8111
(柳川市観光課)
10:00~18:00 (R4.12.8現在11:00~15:00)
休 無料 ②なし
③あり(16台:身障者用2台含む)



白秋詩碑苑



1941年に作られた、白秋最後の思郷の詩「帰去来」。帰去来詩碑は、1948年に建立され、白秋の童謡「からたちの花」にちなみ、からたちの生垣に囲まれて立っています。毎年1月25日に「白秋生誕祭」、毎年11月2日に「白秋祭式典」が開催されます。

白秋詩碑苑
〒832-0056
福岡県柳川市矢留本町
☎0944-73-8111(都市計画課)
休 無料 ②なし ③なし